

```
docker run --rm --name ethereum --network mynetwork ¥  
-v `pwd`/ethereum_data:/DATA:rw ¥  
ethereum/client-go ¥  
--datadir /DATA/ init /DATA/genblock.json
```

-v オプションは、ホストのディレクトリとコンテナのディレクトリをマッピングする指定で、\$HOME/CQ/mydata\_server/ethereum\_data の領域がコンテナでは/DATA としてアクセスできるよう設定しています。

--rm オプションは処理が終わったらコンテナを削除する指示です。コンテナを削除しても外部にあるデータ領域は残ったままです。